

大学の非常勤講師における研究業績発表

【発表者】

技術士(総合技術監理部門・化学部門 (専門:化学工学))

池田和人技術士事務所 代表

池田和人 (いけだかずと)

三重大学・大学院 非常勤講師

大阪公立大学 非常勤講師

名城大学・大学院 非常勤講師

大阪公立大学 百舌鳥化工会 会長

(化学工学科 同窓会会長)



大学の非常勤講師 担当科目

三重大学 工学部／三重大学大学院 工学研究科

科目名	期	時間数 (期末試験含む)	受講生	受講者数
実践企業学	後期	90分×8コマ (4日)	大学院 工学研究科 1回生	11名
工業化学概論	後期	90分×16コマ (8日)	工学部 応用化学科 3回生	43名
応用化学特別講義Ⅲ	後期	90分×8コマ (4日)	工学部 応用化学科 3回生	87名

名城大学 工学部／名城大学大学院 工学研究科

科目名	期	時間数 (期末試験含む)	受講生	受講者数
分離精製工学	前期	90分×16コマ (15日)	工学部 応用化学科 3回生	46名
科学技術英語	後期	90分×15コマ (14日)	大学院 工学研究科 1回生	14名

名城大学は、対面授業14回+オンデマンド講義1回です。大学院は期末試験は行いません。

大阪公立大学 工学部

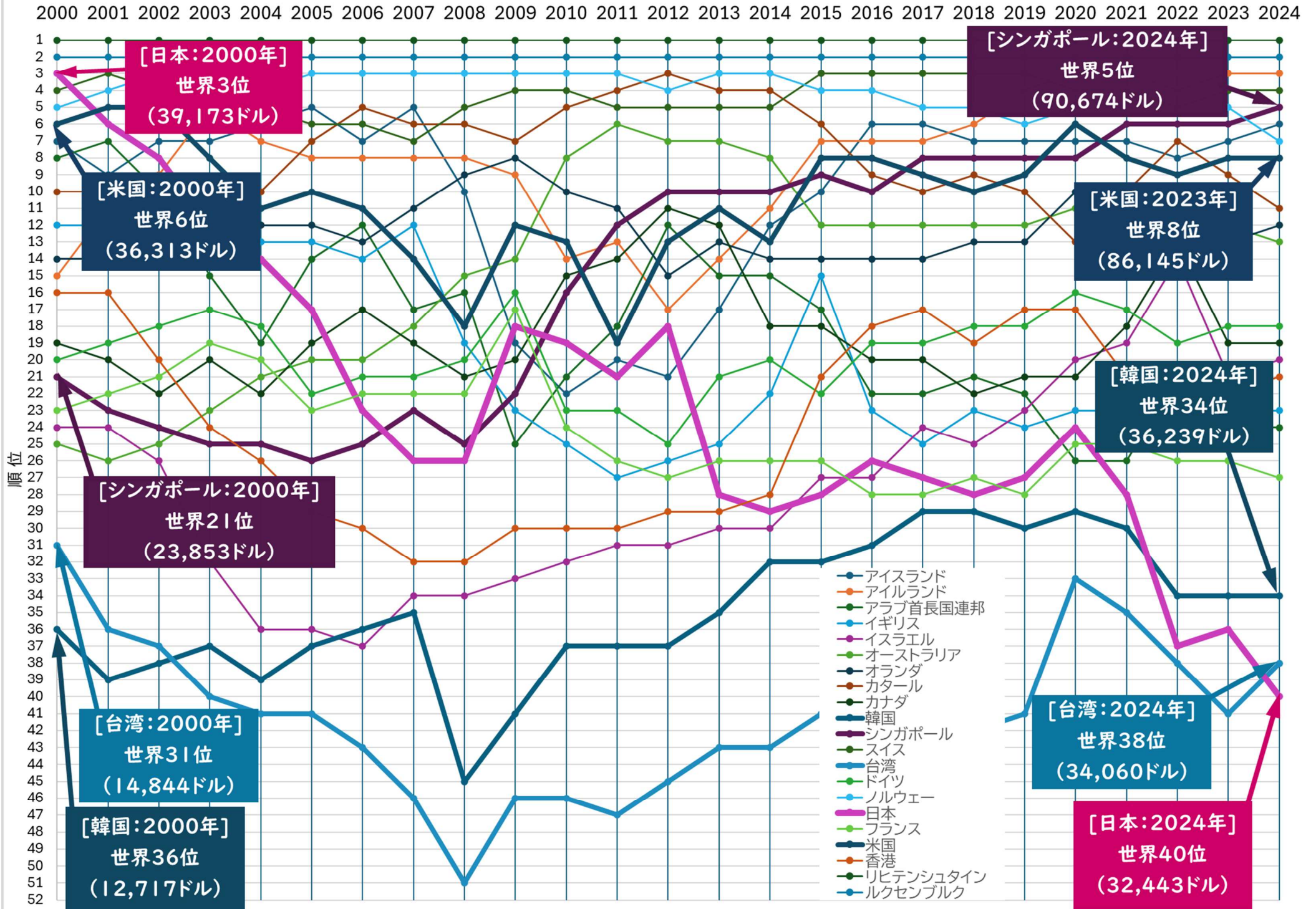
科目名	期	時間数 (期末試験含む)	受講生	受講者数
エンジニアのための キャリアデザイン	前期	90分×1コマ (1日)	工学部 3回生	約310名
化学工学序論	前期	90分×1コマ (1日)	工学部 化学工学科 1回生	約40名

現在の日本の「一人あたりの名目GDP(所得)」の水準は、かつての日本とは違います。日本人の所得が上がらない中、ここ十数年、日本では、「GDPより心の豊かさ」と言われてきましたが、しががない一人の国民の立場で言えば、心の豊かさは「金に空きたらない富豪のセリフ」と言わざるを得ません。国民が金銭的に裕福であれば、「芸術を愛し、友輪を愛する国民」になれるのです。

一方、世の中には、多くのテクニカル用語が氾濫していますが、結局、それを導入して利用するのは「人」です。日本の世界的地位がここまで低下した今、我々の世代は、「未来の社会を主導する人」を造らなければなりません。

ここで、いろいろご意見はあろうかと思いますが、

「最近、どんな学生を育てれば良いか、わかってきました」



『まっすぐに人を育てる』

木は何もしなければまっすぐ上に向かって伸びます。一方、盆栽は、右に曲げられ左に曲げられながら育ちます。どちらが健全な育ち方でしょうか。

木をまっすぐ高く伸ばすためには、太陽光をたくさん与えて、水と養分そして二酸化炭素をたくさん与えなければなりません。

人間も生物です。池田勇人、白洲次郎、小林一三、吉田茂など、大きな仕事をした偉人たちは、以外にも、そのような育ち方をしてきました。



本紙の画像：
Cyberlink “My Edit” で作製



本紙の画像：
Cyberlink “My Edit” で作製

「人と技術は世を変える」

今の若者は、かつての元気な日本を知りません。そして、今の若者は、『経営者の“申し訳ございませんでした。”』、『政治家の失言』、『北朝鮮と金正恩』、『自分の身は自分で守って下さい。』、『エスカレーターは左一列に並びましょう。』という環境で子供時代を過ごしてきました。

今の若者たちは、『苦しい時代に生まれ、苦しい時代に育った世代』です。よって、日本の高度成長という裕福で明るい社会を知っている我々は、これを知らない若者たちに元気を与えなければなりません。そうでなければ、日本特有の島国根性ばかりが育ち、大陸の外国人に嫌われる可能性がございます。

私は、離婚を二回も経験し、『女にやられてきた人生』でしたが、男心はわかるつもりです。男とは、やはり『ロマンを抱く動物』です。私は、若者たちに、夢と野望を持ってもらい、遠い将来、裕福で明るい社会を創ってくれることを望みます。

本日は、私の専門的な講義の合間に行ってきた『学生に伝えたい雑談』の一部を時間が許す範囲でお伝えします。(技術士会に出せそうな話題に限定させていただきます。)

『わが小林一三 ～清く正しく美しく～』

著: 阪田寛夫 / 出版: 河出書房新社

阪急電鉄・阪急百貨店・宝塚歌劇団・東宝の創始者

三井銀行時代は作家を目指している不出来な若者だったが、当時の恩師: 岩下清周 (いわした きよちか) に見いだされ、そこから持ち前のポジティブな一面を発揮。逆転発想により、とにかく日本初ばかり。日本人が見習うべき実業家に。

清算が決まっていた箕面有馬電気軌道 (後の阪急電鉄) をつぶさずに残すための方策を提案。“住宅ローン”という聞いたことがない方法を提案し、田んぼばかりの豊中を宅地開発して会社員に住宅を買ってもらえば、会社をつぶさなくてよいと発言。当時は大金持ちが一括で住宅を購入するというのが常識であったが、それを打ち破った。

箕面有馬電気軌道 (後の阪急電鉄) を開業後、『駅前にスーパーがあればいいのに』という乗降客の声を聴いて阪急マーケット (後の阪急百貨店) を発案。世界初の駅前デパートを造った。

阪急神戸線の計画の際は、競合の阪神電鉄からの邪魔と戦う日々。そして、人が住んでいない最も山側に線路を引くことになった。しかし、『六甲山脈の阪神側はすべて南に面している』ことに気づき、山の斜面を宅地開発。今ではここが阪神地区最大の高級住宅地になっている。今では、『阪急神戸線で通っている』というだけでステータスになる。

小林一三が商務大臣であった頃のエリート官僚 岸信介との戦いは有名である。

阪田寛夫

わが小林一三
清く正しく美しく

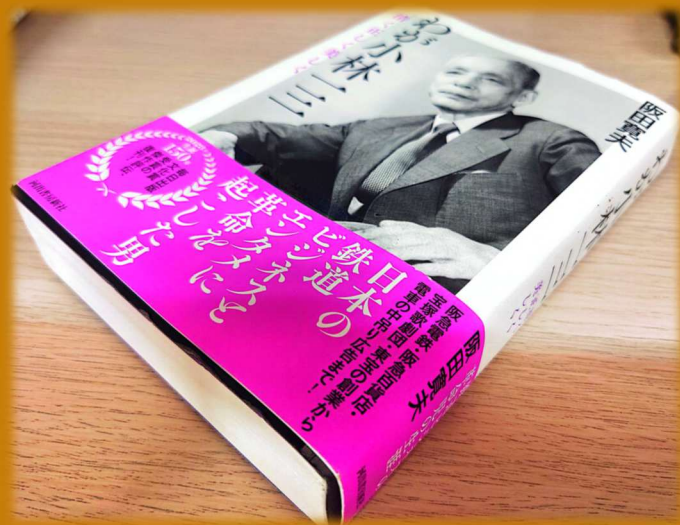


阪急電鉄・阪急百貨店・宝塚歌劇団・東宝の創業から電車の中吊り広告まで!

日本の鉄道のビジネスとエンタメに革命を起こした男

2023年生誕150年 毎日出版文化賞受賞の傑作評伝、復刊!

河出書房新社



動画

“2024年ハーバード大学首席の卒業式スピーチ『知らないことへの力』”
(提供 Vox Nova) (12:21)

<https://youtube.com/watch?v=SOUH8iVqSOI&si=sKDDUdBMbtN-YVg1>



真摯に私たちの声を聞こうとしてる？
Harvard, do you hear us?

動画 すごい “Roby Lakatos and his Orchestra: Two Guitars” (出典 EuroArtsChannel) (6:32) Rev.1

https://www.youtube.com/watch?v=2omGsrRaFp0&list=RD2omGsrRaFp0&start_radio=1

世界的な経済学者に「日本の経済力を上げるにはどうしたら良いか」と聞いたら、
「音楽や美術を愛する心を育め」と言われたらしい。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』
ロビー・ラカトシュ (Roby Lakatos)

出生名 Roby Lakatos / 生誕1965年 / 出身地 ハンガリー、
ブダペスト / 職業 ヴァイオリニスト

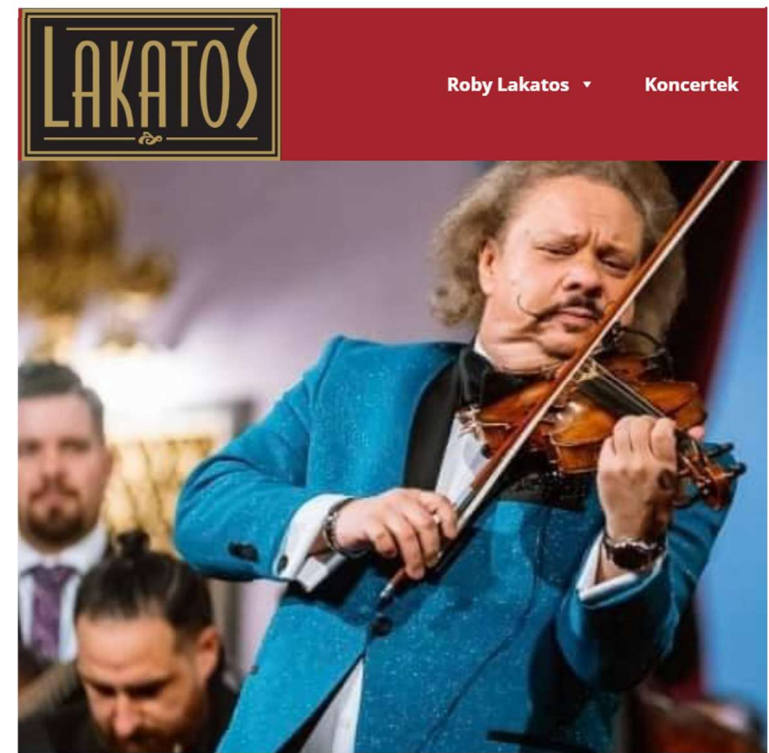
ロビー・ラカトシュ(Roby Lakatos、1965年 -)は、ハンガリーのヴァイオリニスト。作曲家。ハンガリーに古くから伝わるロマ(ジプシー)音楽をベースとし、ジャズやクラシックの要素も取り入れた独特の音楽スタイルで、その素晴らしい技術から「超絶技巧」などと評される。

ハンガリー・ブダペストにて”ジプシー・ヴァイオリン中興の祖”
ヤーノシュ・ビハリ (1764-1827) の直系の末裔である音楽一家の家系に生まれ育つ。叔父は高名な演奏家で数多くの録音を残しているシャンドル・ラカトシュ。

彼のテクニックを見たい方はこちら

https://www.youtube.com/watch?v=NFRscTuCFz8&list=RDEMX48keMWJrZnowRNv0bGVrw&start_radio=1

当時の共産主義国ハンガリーでジプシー一家の長男として生まれ、身分制度の下、レストランのバイオリン弾きであった彼が…。渡米して初めて舞台上でバイオリンを弾いたそうです。



「人と技術は世を変える」

戦後の総理大臣「吉田茂」が育てた若者たちが、その後の日本の高度成長を実現しました。その若者たちとは、後に総理大臣となる池田勇人、佐藤栄作、田中角栄、大平正芳、鈴木善幸、宮澤喜一です。

彼らの時代、日本は、革新的な技術を次々に生み出し、人と技術で世を変えました。バブル崩壊を機に日本は元気を失っていますが、今後、人と技術で日本の世を再び変えてくれることを望んでいます。



【上の映画は、お勧めです】

左から、吉田茂、池田勇人、田中角栄

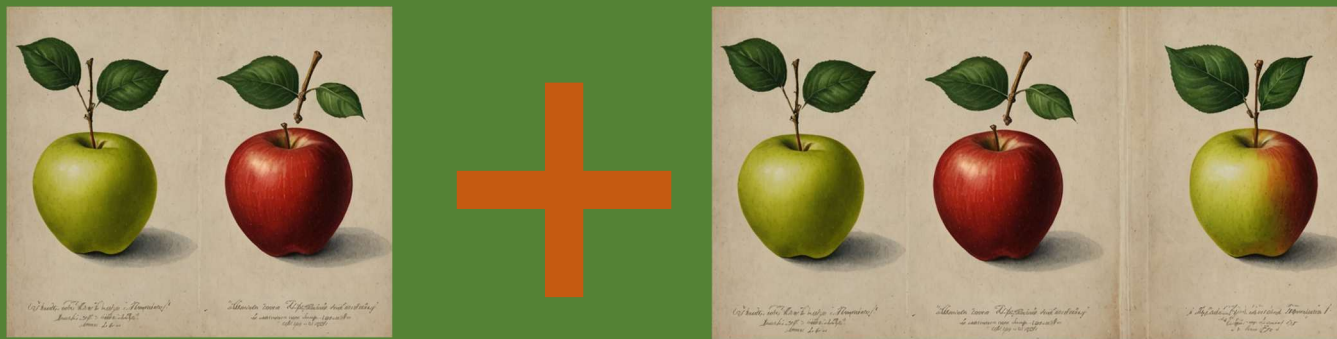
覚える勉強はだめ

『 $2+3=5$ 』と教えられた場合、あなたは何を考えますか？

[Case-1] “2足す3は5”と覚える。

[Case-2] 2つのリンゴと3つのリンゴを思い浮かべて数を数える。

“2足す3は5”と覚えた人は、次に『 $3+4$ は？』と聞かれると、
『教えてもらっていないからわからない』と言うでしょう。



重要なことは、自然の法則というものをじっくりと思い浮かべることです。

米民主党では、ローズ奨学生がホワイトハウスの中心を占めると言われています。

選ばれた32人

Famous Rhodes Scholars (U.S.Newsより)

<https://www.usnews.com/education/slideshows/famous-rhodes-scholars?slide=5>

Bill Clinton

Bill Clinton served as the 42nd U.S. president, holding office for the majority of the 1990s. Prior to that, Clinton served as governor and attorney general for Arkansas, his home state. He was impeached in 1998 after allegations of an improper relationship with a female White House intern, but acquitted of the charges by the Senate. Clinton was awarded a Rhodes scholarship following his

undergraduate degree at [Georgetown University](#) in Washington, D.C., but his time at Oxford was clouded by U.S. involvement in the Vietnam War and the potential for him to be drafted into service, a fate he said he hoped to avoid. He was able to remain at Oxford but never earned a degree.



(学生の皆さんへ)

『できるだけ勉強せずに思い出せる人』こそ素晴らしい。

1. 勉強とは、『本を読むこと』ではありません。勉強とは、『読んだ本を思い出すこと』です。これは、歩いている時でも、寝転んでいる時でもできます。私も経験があるのですが、これは本当に頭を使います。しかし、自らの力で考え抜くことにより、シンプル且つスマートで効率的なカッコいい思考力が身につくのです。社会人にとって、これが最も重要です。
2. 『私は本が擦り減るほど繰り返し読みました。そして、やっと思い出せるようになりました。』という人は、これは非常に言いにくい事ですが、『自分は頭が悪い』と言っているようなものです。スマートな人は、『できるだけ勉強せずに思い出せる』のです。
3. 一方、現実はどうでしょう。君たちは、新聞の1面・2面・3面を理解できますか。私は、40才の頃、新聞の1~3面を、蛍光ペンで線を引き、インターネットで用語を調べながら、1時間かけて読みました。そして、やっと紙面を思い出せるようになりました。今は、斜め読みをしても、思い出すことができます。君たちも、将来、『できるだけ勉強せずに思い出せる人』になって下さい。
4. 読んだ本を思い出す時、『今からあそこを思い出すぞ』という強い意志が必要です。何となく読んだ本を思い出すのは無理です。その場合、知らない間にふと気づくと、ドロドロした人間関係や恋愛の事を考えていることになるでしょう。何はともあれ、将来、『できるだけ勉強せずに思い出せる人』になって下さい。

ドバイのホテルのプライベートビーチ



ドバイのホテルの部屋から



ドバイのホテルの夕食
(砂漠の中の屋外ビュッフェ)



タイ族 90%

学生の皆さんへ

香港



[出典] Shuteerstock

かつて、アジアの中心都市は東京でしたが、
現在、アジアの中心都市は香港とシンガポールです。



シンガポール

[出典] Shuteerstock



バンコク

マサチューセッツ工科大学 MIT

(見るべきものは、日本ではなく世界です。)



[出典] Sustainable Japan

【皆さんへのメッセージ】

皆さんはこれから数十年の人生を歩みます。そして、皆さんの世代の人生が日本と世界を作ります。

- ① 世界を見よう。そして、日本の現実を知ろう。
- ② 10年後の夢を持とう。そして、そのために今できることをやろう。
- ③ 勉強すればするほど勉強不足に気づく。
- ④ 勉強とは、本を読むことではない。勉強は、読んだ本を思い出すことである。そして、これはいつでもどこでもできる。
- ⑤ 専門書は、過去の英知たちの苦勞と議論の成果である。だから、専門書は歴史書である。
- ⑥ プロであればあるほど、自分の今の「現実」を正しく把握している。

皆さんのこれからの人生で、
素晴らしい日本と素晴らしい世界を作って下さい。

ご清聴、ありがとうございました。

名城大学大学院 工学研究科 1回生 『科学技術英語』



三重大学 工学部 3回生 『工業化学概論』



本紙の画像：
Cyberlink “My Edit” で作製